



スキマタイムズ



もっとお互いを理解するための場や時間を



日本自立生活センター自立支援事業所 2019年7月29日発行



居場所づくり勉強会 第57弾 フィリピンの報告会

～フィリピンの路上やスラムで生きる人々を訪ねて～



- ◆日 時 2019年8月20日(火)14:30-16:30
- ◆場 所 JCIL本体事務所(十条通り沿いの事務所)
- ◆メインスピーカー 築瀬 仁志 (JCIL介助者)

第二弾!

今回は、途上国の貧困問題の現状について、僕が定期的に訪れているフィリピンの貧困を取り上げお話ししました。今回は、なぜ途上国は貧しいのか、ひいては、南北問題とはどういう構造なのかということについて話したいと思います。とは言っても、他の様々な社会問題と同様、南北問題の構造や解決策についても、様々な専門分野からの視点や考え方があります。そこで今回は、南北問題を学ぶ上での古典とも言われている、スーザン・ジョージの『なぜ世界の半分以上が飢えるのか』と鶴見良行の『バナナと日本人』の2冊を参考にして、南北問題の構造について話したいと思います。是非ご参加ください。

こころとからだをすっきり！ヨガタイム

ヨガで自分の身体と向き合ってみませんか？ヨガの目的はきれいなポーズをとることではありません。その日の身体がどんなふうに動くか動かないか、意識を自分に向ける時間です。呼吸が深くなり、肩こり、腰痛、疲労感もやわらぎます。もちろん腰痛予防にもいいですよ！ぜひ参加してみてください♪ 講師は石田久美さんです。



- ★ヨガ：全身をうごかすヨガ
- 日 時：8月19日(月)
17:00-18:15 (OPEN 16:45)
- 場 所：油小路事務所2F
- 持ち物：動きやすい服装・タオル・飲み物
- 参加費：無料

*このヨガクラスは、JCIL自立支援事業所の利用者と家族・介助者を対象にしています。

日本自立生活センター自立支援事業所 編集担当:岡山・春木

TEL:075-682-7950 E-mail:jcil-kyoto@jcil.jp URL:http://www.jcil.jp/zigyosho/index.html

障害女性のための茶話会のお知らせ

今回はフリートークです。テーマは決めずに、日常の体験や愚痴、つらかったこと、疑問、よかったことなど、みんなで肩ひじ張らずに話したり聞いたりしてみませんか？障害種別を問わずご参加お待ちしております。

この茶話会は、女性特有のデリケートなことも話しやすいように、参加者は女性限定にさせていただきます。

またこの会では、お互いに話した／聞いた内容を外には持ち出さない、という原則を大切にしています。日常の繋がりなどを気にすることなく、安心・安全に話せる場にしたいと思います。

★ 日 時：2019年8月17日（土）

13：30～16：30

★ 場 所：京都市地域・多文化交流ネットワークセンター
南区東九条東岩本町 31

★ 参加費：無料

★ 申込み：下記までお申込みください。

※手話通訳の必要な方は8/7までにご連絡ください。

【問合せ】

障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会女性部会（担当：香田・村田）
京都市南区東九条松田町 28 メゾングラス十条 101 JCIL 気付

TEL: 075-671-8484 FAX: 075-671-8418 E-mail: jcil@cream.plala.or.jp



同センターで
開催中の
アートフェスタ
も要チェック！

小松食堂

アンケートBOXを小松食堂の時に置いています。
リクエストお待ちしております！

参加費 三二〇円

どなたでも参加できます。
場所は「松の間」
いずれも一七時から

高菜？

なっとう？

きのこ？

バター醤油？

たらこ？



和風ぱすた

桃のゼリー

二十六（月）

八月の献立

何味かは当日のお楽しみ♪

総合支援法が改正されるよ！？ えっ、ほんま？Part76

自立生活満喫中のリツコさん
でもあんまり難しい話は苦手…



お久しぶりー
梅雨が明けて、暑い日がやってきたね！

うん。暑すぎるのはこたえるけど、夏はやっぱり
エネルギーにあふれてる季節だね。
ところで今日は何のお話しかな？

「アンラクシ」…ああ「安楽死」ね。
この前も、NHK スペシャルでやってたね。難病の女性
がスイスで安楽死を選ぶドキュメント。「彼女は安楽死
を選んだ」というタイトルだったね。

うん。なんか、違和感を感じたなあ。医師と話した後、
女性が自分で、毒の入った点滴のストッパーを開いて、
命を落とすシーンがそのまま放送されていたね。
それから、介護を受ける身になりたくない、とか、人工呼吸器や胃ろうは「つけたら終わり」、みたいなことが語られていた。

ん？ どういうことだろう？

そうなんだ。確かにそうだね。でも、今回のドキュメントの安楽死は、ちょっと違う気がする。

そうなんだ。自殺なのね。。NHK ドキュメントは、「彼女は自殺を選んだ」ってことなのね。

そうかあ。番組で感じた違和感は、アンラクシっていう言葉の使い方のあいまいさも関係してるのね。アンラクシって、気楽な響きをもってるけど、それにごまかされちゃいけないんだね！

障害者制度改革について
勉強中のタクオさん
小難しいこともやさしく(?) 解説



春以来かな。お久しぶりです。
真夏の到来ですねー！

今日は、「アンラクシ」にまつわる話をしようと思ってるんだ。

うん。重たいものを投げかけたドキュメントだと思うけど、報道のあり方としては、いろいろと問題のあるものだった。

そうだね。それと、そもそも、「アンラクシ」という言葉があまりにも安易に使われていたと思う。「アンラクシ」ってこんな簡単に使っていていい言葉のはずがない。

「アンラクシ」って言ったら、たとえば、相模原障害者殺傷事件の被告も、使っていたよね。意思疎通のとれない人をアンラクシさせる、とか。それから、ナチス・ドイツでも使われたよね。アンラクシ政策で、何十万人も障害者が殺された。だからドイツではこの言葉を公には使ってはいけないんだ。

そうだね。そもそもアンラクシの定義なんて、時代ごとによりかわっているものなんだ。だから、言葉を厳密に使う人は、アンラクシなんて安易に使わない。ちなみに、今回のドキュメントでの彼女の死は、一言でいえば「自殺」にあたるんだ。詳しく言えば「医師幫助自殺」だけど、「自殺」であることに変わらない。

そう。だから、自殺報道のあり方や放送倫理の観点からも問題なんだ。そのあたりのことは、JCIL が出した声明でも述べられているよ。

そうだねー。アンラクシといっても結局は、医師による「幫助自殺」か「囑託殺人」なの。幫助自殺や囑託殺人についてどう考えるか、と議論しないといけないんだよ。

知り合いにお声がけください！
介助者募集中！



地域で自分らしく暮らす！ を支えるシゴト

在宅での生活支援（食事・着替え・トイレ・風呂など）
外出の介助、見守り
介助はすべて同性介助です
その人の暮らしに寄り添い、日々の生活を支える仕事です

◇勤務地：京都市内・近郊の利用者の自宅または外出先

◇勤務時間：日中・夜間・早朝・宿泊等あり

介助は24時間365日あります
時間数や時間帯は相談して決定します
原則として曜日・時間帯固定、週1日から可能
土日祝勤務できる方歓迎

◇連絡先：日本自立生活センター自立支援事業所

◇電話：075-682-7950 FAX：075-682-7951

◇E-mail：jcil-kyoto@jcil.jp

◇HP：<http://www.jcil.jp>

◇まずは電話でお問い合わせください！

◇給与：時間給制

日中 1170 円、夜間・早朝 1420 円、深夜 1670 円、宿泊 1420 円

事務 1070 円

日額旅費 600 円／日

移動手当、通信手当、入浴手当等あり

◇性別、年齢、経験、国籍は問いません

◇有資格者（介護福祉士・ヘルパー・重度訪問介護従業者等）歓迎

資格のない方も OK！ 重度訪問介護従業者養成研修あり

特に土・日、夜の時間帯の女性介助者を探しています！！

JCIL と京都ダルク交流「芋煮会」第2弾

いちか〜い 芋ないん会のおさそい

昨年に行われた、JCIL と京都ダルクの交流芋煮会の第2弾です。

今回は、JCIL と京都ダルクが日頃から交流のある団体に呼びかけ、京都市地域・多文化交流ネットワークサロン（希望の家）と共催で、少し多人数で交流会をすることになりました。

おいしいお昼ごはんを食べながら、私たちのつながりを体感しちゃいましょう！きっと今後、「芋煮会」と「芋ないん会」が、繰り返されることでしょう。

★日時：2019年8月10日（土） 午前11：30～午後2：00

★場所：希望の家ホール（京都市地域・多文化交流ネットワークセンター）

★会費：500円 ※昼食をご用意しています。

★申込み：JCIL 本体（担当：下林）

TEL：075-671-8484 FAX：075-671-8418

E-mail：jcil@cream.plala.or.jp

